

平成27年度事業報告書
(簡略版)

社会福祉法人誠友会

1 概要

1 法人及び施設の概要

(1) 法人

- ① 法人名 社会福祉法人誠友会
- ② 所在地 千葉県佐倉市岩名1011番地
- ③ 代表者 理事長 竹内 淳
- ④ 設立年月日 昭和63年11月4日
- ⑤ 目的 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。

⑥ 役員・評議員 平成28年3月31日現在

| 役職名 | 氏名 | 公職等 |
|----------|-------|------------------|
| 理事長・評議員 | 竹内 淳 | 特養佐倉白翠園 園長 |
| 常務理事・評議員 | 竹内久美子 | はくすい保育園 園長 |
| 理事・評議員 | 大久保靖夫 | NPO法人 栄町観光協会理事長 |
| 理事・評議員 | 福山 昭 | 元佐倉市総務部長 |
| 理事・評議員 | 中野いく子 | 桜美林大学加齢発達客員研究員 |
| 理事・評議員 | 木村 正久 | 木村医院 医師 |
| 理事・評議員 | 野口 恭義 | 佐倉警察官友の会副会長 |
| 理事・評議員 | 網仲 純子 | 千葉家庭裁判所家事調停委員 |
| 理事・評議員 | 鈴木敬一郎 | 特養栄白翠園 園長 |
| 理事・評議員 | 寺田 純子 | 佐倉市社会福祉協議会理事 |
| 評議員 | 海老原衡治 | 前佐倉市商工会議所副会頭 |
| 評議員 | 櫻井 肇 | 佐倉市内郷地区社会福祉協議会会長 |
| 評議員 | 八田羽由江 | NPO法人ねむの里理事長 |
| 評議員 | 佐藤 武弘 | 学校法人佐藤学園理事長 |
| 評議員 | 峰村 愛子 | ボランティア代表 |
| 評議員 | 安宅 香織 | 特養佐倉白翠園事務長 |
| 評議員 | 田代 道郎 | 利用者家族代表 |
| 評議員 | 萩原 勝世 | 松ヶ丘防犯グループ副会長 |
| 評議員 | 烏海 孝範 | NPO佐倉ラボ 代表理事 |
| 評議員 | 穴原 昌弘 | 栄町民生・児童委員協議会 会長 |
| 評議員 | 川島 良子 | 栄町社会福祉協議会 会長 |
| 監事 | 小澤 洋和 | 税 理 士 |
| 監事 | 佐藤 満 | 元四街道市福祉サービス部長 |

2 会議開催状況

(1) 理事会 全6回 評議員会 全3回

主な議題

事業報告、事業計画、予算、決算、定款、各種規程変更、評議員の改選、
今後の法人運営に関する事項等

(2) 苦情処理委員会開催状況 全2回

(3) 合同経営会議 全12回

3 公開講座（福祉講話） 全2回

2

佐倉白翠園

[1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

2 会議等

所属長会議（全47回） 給食委員会（全12回）
職員全体会議（全2回） 衛生委員会（全12回）
経営会議（全12回） 感染症対策委員会（全12回）
看護会議（全12回） 行事委員会（全5回）
介護会議（全体会議2回）
介護リーダー会議（全11回）

※事故防止員会、安全対策委員会、褥瘡対策委員会、虐待防止委員会同日開催
個別処遇会議（全37回）

入所（入居）検討委員会（全11回）

3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全17回

4 ボランティア活動

(1) ボランティア活動年間延べ1158人（前年度 1095人）

(2) ボランティア懇談会 全2回

5 地域交流事業 全5回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数 55名 延べ人数 345人 延べ日数 151日 福祉・医療系 教育系等

7 各部門

【生活相談室】 正職1名（介護部兼務）

11～12月に退所が相次いだが、全体的には前年度並の稼働率となった。

(1) 年間平均稼働率 96.7%（前年度96.4%）

(2) 平均介護度 3.82（前年度 3.66）

(3) 平均年齢 85.7歳（前年度 85.4歳）

【看護室】 加算配置1名 正職1名 嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）

体調不良になる入所者が比較的少なかったが、骨折による入院が多くみられた。

病院受診状況 年間延べ726名（前年度年間延べ883名）

(1) 入院状況 年間 15名（前年度年間 9名）

(2) 死亡者数 年間 8名（前年度 11名）

【栄養室】 加算配置正職1名（ショート・デイ・兼務）

栄養士交代により、委託厨房業者との連携不足が見受けられたが、事業計画に沿って、概ね対応できた。栄養ケアのアセスメントに重点を置いたことで、栄養リスクの改善がやや図られた。

【介護部】 正職16名 嘱託・パート15名（相談室兼務1名 ショート担当兼務10名）

重度化する特養入所者、ニーズの多様化するショート利用者が増加する中、療養休暇で常勤2名が欠員となったが、短時間労働の非常勤介護職員や障害者雇用による介助員を組み入れ業務の見直しを図ったことで、サービスの提供ができた。

(1) 年間行事参加人数（SS含） 1106名（前年度1157名）

(2) 年間誕生会参加人数（SS含） 740名（前年度638名）

(3) 年間クラブ・レク実施状況（SS含） 99回（前年度122回）

(4) 精神スケール調査

平成27年11月15日～11月30日 改訂 長谷川式スケール調査

| | カットオフポイント | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|-----------|--------|--------|
| 非認知症 | 21点以上 | 1 | 3 |
| 認知症 | 20点以下 | 34 | 29 |
| 調査不可能 | — | 11 | 13 |
| 未調査 | — | 4 | 2 |
| 合計 | — | 50 | 47 |

[2] 特別養護老人ホーム（ユニット型介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名（1ユニット10名×5ユニット）

2 会議等 介護全体会議 全1回 ユニットリーダー会議 全11回
※ 事故防止委員会、褥瘡対策委員会、虐待対策委員会同日開催
ユニット会議 全49回

3 ボランティア協力状況 年間延べ102名（前年度6名）

4 各部門

【生活相談室】 専任正職1名

全入居が完了してからは、1年を通じて比較的安定した稼働率を確保できた。

- (1) 年間平均稼働率 96.7%（前年度77.7%）
- (2) 平均介護度 3.06（前年度3.16）
- (3) 平均年齢 87.8歳（前年度87.1歳）

【看護室】 加算配置1名 正職1名 嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）
発熱・尿路感染による受診、入院が多くみられた。

- (1) 病院受診状況 年間延べ956名（前年度年間延べ608名）
- (2) 入院状況 年間25名（前年度年間18名）
- (3) 死亡者数 年間7名（前年度2名）

【栄養室】 正職兼務1名

ユニット型は常食を基本とし、利用者の目の前で刻む食事提供を基本として実施。食の楽しみとしての他事業所と合せた企画食の取り組みを行った。

【介護部】 正職15名、パート・派遣16名

昨年度末全てのユニットへの入居が完了し、それを踏まえてユニットでの仕組み作りを実施し記録のパソコン化への取り組みを行なった。また、行事ではユニット毎に季節の行事を行なったり、認可保育と合同で行なう時もあった。

- (1) 年間行事参加 従来型行事への参加 7回
- (2) 年間誕生会回数 45回
- (3) 精神スケール調査

平成28年3月15日～3月30日 改訂 長谷川式スケール調査

| | カットオフポイント | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|-----------|--------|--------|
| 非認知症 | 21点以上 | 5 | 2 |
| 認知症 | 20点以下 | 39 | 41 |
| 調査不可能 | — | 2 | 3 |
| 未調査 | — | 4 | 2 |
| 合計 | — | 50 | 50 |

[3] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員24名

2 会議等 ショートステイ会議 全6回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名（特養従来型兼務）

在宅生活困難による利用期間の長期化に伴い、昨年度よりも稼働率が上昇した。

(1) 年間平均稼働率 83.9% 平均利用 20.1名
(前年度 72.7% 17.5名)

【看護室】 加算配置1名 正職1名、嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）
病院、老健との連携による受け入れが増加した。

(1) 年間医療行為利用者 述べ65名（前年度 377名）

【栄養室】 正職1名（従来型・デイ兼務）

米飯、常菜・一口大の食事形態が8割を占める。個別ニーズの多様化に合せた対応が必要になってきている。

(1) オヤツ作り 年2回

【介護部】 従来型に準ずる。

[4] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員）月曜～金曜：30名 土曜：25名
認知症対応型通所介護（定員）月曜～土曜：12名

2 会議等 デイ会議 全12回

3 ボランティア協力状況 年間延べ411名（前年度393名）

4 実習生受け入れ状況 年間実人数 10名 延べ日数 15日 医療系

5 各部門

【生活相談室】 専任正職1名 兼務2名

認知症対応型を平成27年5月31日付けで休止としている為、稼働額が減少した。新規利用者数は昨年に比べて減少。中止者数も減少しており、主に施設入所よりも長期入院の理由が多かった。

(1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 75.9% 平均利用 22.1名/日
(前年度 74.3% 21.7名/日)
認知症対応型 年間平均稼働率 24.2% 平均利用 2.9名/日
(前年度 33.1% 3.9名/日)

(2) 平均年齢 84.7歳（前年度84.6歳）

(3) 新規利用者数 通常型 24名（前年度34名） 認知症対応型 0名（前年度2名）

(4) 中止者数 通常型 20名（前年度22名） 認知症対応型 1名（前年度7名）

【看護室】 嘱託・パート：4名（従来型・ショート・デイ・ユニット兼務）

医療行為利用者の新規利用はほぼ無かった。

(1) 年間運動器機能 年間 41名（前年度48名）

(2) 医療行為件数 年間 延べ人数 26名（胃瘻、バルン留置者）

【栄養室】 正職1名（従来型・ショート兼務）

米飯、常菜・一口大の食事形態が約8割を占める。今年度は、デイ利用者対象に嗜好調査を実施し、個別対応並びに献立への反映を対応した。

- (1) 行事食実施状況 毎月1回 天ぷらバイキング、おやつバイキング等
① オヤツ作り 9回

【介護部】 正職5名（内2名兼務） 嘱託、パート9名
園内外活動状況 （園外）2回 （園内）20回並びに誕生会毎月

[5] ヘルパーステーション（訪問介護事業）

平成27年4月1日～平成27年6月30日まで実施、以降は休止。

- 1 利用規模 佐倉市、酒々井町、栄町全域並びに印西市旧印旛村地区、成田市、公津地区及び四街道市千代田地区
- 2 職員数 サービス提供責任者 正職1名 登録ヘルパー7名
- 3 会議等 ヘルパー会議 全3回
- 4 利用状況
年間身体介護件数 172件（前年度1698件）
年間生活介護件数 192件（ // 949件）
年間身体+生活件数 51件（ // 301件）
年間予防介護件数 255件（ // 938件）
介護保険外サービス利用状況 0件（ // 8件）

[6] ケアサービスセンター

非常勤1名退職により受入れプラン数減。介護度の重い利用者数が減少している。施設に入れなく在宅で入所を待つという状況の利用者が減っているため、軽度者の利用者が多くなっている。

- 1 利用規模 介護給付111名 予防給付11名
- 2 職員数 正職3名 正職兼務1名
- 3 利用状況
新規プラン受付 年間41件（前年度51件）
年間利用件数 要支援 236件（前年度377件） 平均19.7件/月
要介護 1320件（前年度1591件） 平均110.0件/月

3

栄白翠園

[1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

2 会議等

所属長会議（全52回） 給食委員会（全12回）
職員全体会議（全1回） 衛生委員会（全12回）
経営会議（全12回） 感染症対策委員会（全12回）
看護会議（全12回） 行事委員会（全12回）
介護部職員会議（全12回）
リーダー会議（施設リーダー会議全12回、在宅リーダー会議全12回）
個別処遇会議（全19回）
入所検討委員会（全12回）

3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全12回

4 ボランティア活動 年間延べ210人（前年度 198人）

5 地域交流事業 全3回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数22名 延べ人数110人 延べ日数25日 福祉・医療系 教育系等

7 各部門

【生活相談室】 正職1名

年間入退所数は前年度より減ったものの、入院が長期化した方が多かった。年間平均稼働率は前年度と変わらず。

- (1) 年間平均稼働率 95.7%（前年度 95.7%）
- (2) 平均介護度 3.80（前年度 3.73）
- (3) 平均年齢 88.4歳（前年度 88.4歳）

【看護室】 正職：4名（1名療養休暇中） パート：2名（2名デイ兼務）

感染症の流行は見られなかったが、入所者の高齢化により入院数が増加している。

- (1) 病院受診状況 年間延べ726名（前年度年間延べ929名）
- (2) 入院状況 年間 35名（前年度年間 26名）
- (3) 死亡者数 年間 8名（前年度8名）

【栄養室】 正職1名（ショート・デイ兼務）

健康管理面では昨年度よりも良好であるが、特別食の割合が増え、咀嚼・嚥下状態の更なるレベル低下がうかがえる。

【介護部】 正職14名（ショート担当3名） 嘱託・パート：5名

入所者の高齢化もすすんでいることから、看取りを念頭においた介護への取り組みを行う。

- (1) 年間行事参加人数（ショート含） 694名（前年度656名）
- (2) 年間誕生会参加人数（ショート含） 656名（前年度644名）
- (3) 年間クラブ・レク実施状況（ショート含） 35回（前年度34回）

(4) 精神スケール調査

平成 27 年 2 月 1 日～2 月 28 日 改訂 長谷川式スケール調査

| | カットオフポイント | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 |
|-------|-----------|----------|----------|
| 非認知症 | 21 点以上 | 2 | 1 |
| 認知症 | 20 点以下 | 36 | 46 |
| 調査不可能 | — | 11 | 3 |
| 未調査 | — | 0 | 0 |
| 合計 | — | 49 | 50 |

[2] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員 10 名

2 会議等 ショートステイ会議 全 12 回

3 各部門

【生活相談室】 正職 1 名（介護支援専門員兼務）

新規利用者及び実利用者人数は前年度に比べて減少したが、長期的な利用者の受け入れを行うことで平均稼働率は上昇した。

(1) 年間平均稼働率 88.3% 平均利用 8.8 名
(前年度 81.0% 8.1 名)

【看護室】

昨年胃瘻・バルン・インスリン施行者の方が長期で利用されていたが、特養入所となったため、医療行為数は減少した。

(1) 年間医療行為利用者 延べ 108 名（前年度 354 名）

【栄養室】 正職 1 名（特養・デイ兼務）

SS 利用者の食事に対するレベルは、特養よりも高い傾向にあった。

【介護部】 従来型に準ずる

誕生会や手作りおやつなどの行事、ショートステイの広報誌の発行を実施した。

[3] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員） 月曜～土曜：28 名

2 会議等 デイミーティング 全 12 回

3 ボランティア協力状況 1 名（洗車）延べ回数（40 回）

4 各部門

【生活相談室】 正職 2 名

新規利用者が少なく、稼働率は 3.5% 低下した。

(1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 66.6% 平均利用 18.6 名/日
(前年度 70.1% 19.0 名/日)

(2) 平均年齢 85.8 歳（前年度 83.2 歳）

(3) 新規利用者数 通常型 13 名（前年度 22 名）

(4) 中止者数 通常型 13 名（前年度 20 名）

【看護室】 パート：2 名（2 名特養と兼務）

リハビリにより ADL の維持向上を目指した。

(1) 医療行為者延べ人数 胃瘻 12名 バルン留置者 0名 在宅酸素 21名

【栄養室】 正職 1名 (特養・ショート兼務)

DS 利用者の食事に対するレベルは、特養や SS よりもさらに高い傾向にあり、食事に対する介護を必要とする利用者は少ない。

(1) 行事食実施状況 20回

【介護部】 正職 1名 嘱託・パート：6名

園内活動状況 (園内) 12回並びに誕生会毎月

[4] 在宅介護支援センター (委託事業)

前年度に引き続き、独居高齢者の実態把握調査を実施している。

1 利用規模 栄町全域

2 職員数 居宅介護支援事業所と兼務

3 利用状況

対応件数 29件 (前年度 41件)

[5] ケアサービスセンター

新規の利用者数は減っているが、介護給付の年間利用件数は前年度に比べ増えている。

1 利用規模 介護給付 60名 予防給付 11名

2 会議等 ケアサービスセンター会議 全 12回

3 職員数 正職兼務 2名 (うち 1名は短期入所生活介護事業相談員を兼務)
嘱託兼務 1名

4 利用状況

新規プラン受付 年間 29件 (うち予防給付 4件) (前年度 34件 (うち予防給付 4件))

年間利用件数 要支援 62件 平均 5.17件/月 (前年度 99件)

要介護 597件 平均 49.75件/月 (前年度 519件)

4 松ヶ丘白翠園

前年度に比べて利用者登録人数は減少。11月に入ってからは、長期入院者が増えた為、稼働率も減少している。3月からは退院者も増えて稼働率も回復傾向にある。

1 指定居宅サービス内容 通常規模型通所介護（定員） 月曜～金曜：35名 土曜：15名

2 会議等 デイミーティング 全12回

3 ボランティア協力状況 年間延べ300名（前年度255名）

4 地域交流事業 全21回（地域防災活動等）

5 各部門

【生活相談室】 専任正職1名 兼務2名

(1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 69.4% 平均利用 22.0名/日
(前年度 74.2% 23.5名/日)

(2) 平均年齢 83.8歳（前年度83.9歳）

(3) 新規利用者数 通常型 11名（前年度11名）

(4) 中止者数 通常型 15名（前年度13名）

【看護室】 パート1名、嘱託2名（佐倉白翠園兼務2名）

(1) 年間運動器機能 年間延 2043名（前年度 2328名）

(2) 個別機能訓練 年間延 0名（前年度 439名）

【栄養室】 国民の祝日に合わせて、委託業者に依頼し、行事食を実施した。

【介護部】 正職2名（生活相談室兼務） パート6名

園内外活動状況 （園外）毎月 （園内）クラブ活動並びに誕生会毎月

5 佐倉地域包括支援センター

当圏域の高齢化率は32.5%、高齢化率が40%を超える地区が約3割であり、医療介護の多様なニーズが増大している。地域の実情に応じた地域包括ケアの構築のため地域ケア会議及び認知症施策の推進に努めた。

- 1 利用規模 佐倉市佐倉圏域
- 2 職員数 正職5名 パート2名
- 3 利用状況
指定介護予防支援月別利用者数 年間延べ 3374名（前年度3155名）
新規利用者数 年間延べ 121名（前年度116名）
相談件数 年間延べ 742件（前年度712件）

6 保育事業

認可保育園は初めて1年を経過し、3月には卒園生3名を小学校へ送り出すことができた。事業所内保育は特養の人員不足解消に寄与し、延1400名以上が利用した。病後児保育において利用人数は少ないが、着実に稼働している。平成26年度に引き続き、高齢者施設との交流の取り組みを実施した。

- 1 認可保育所
 - (1) 利用規模 認可保育事業（定員）60名 病後児保育事業（定員）3名
 - (2) 保育会議 全12回
 - (3) 利用状況
認可保育事業 登録児童 37名 年間利用延利用人数 7175名
病後児保育 事前面接件数 18件（昨年12件）
年間利用人数 5名（昨年11名） 延利用日数 5日（10日）
- 2 事業所内保育
 - (1) 利用規模 定員6名
 - (2) 利用状況 月極め利用 1名 一時利用 24名
年間延利用人数 1429名（昨年1108名）
平均 4.6名/日（昨年3.6名/日）
- 3 参考（保育園建物の評価）
キッズデザイン賞 受賞
グッドデザイン 未来づくりデザイン賞 受賞
第22回千葉県建築文化賞 一般建築物の部 入賞